

# 平成 30 年度 教育行政方針

## **I はじめに**

## **II 学校教育の推進**

- 1 新しい時代に対応できる力の育成
- 2 豊かな人間性と健やかな体を育成する教育の推進
- 3 育ちと学びを支える教育環境の充実
- 4 信頼と期待に応える開かれた学校づくり
- 5 緑陵高等学校の教育の充実
- 6 学校給食の充実

## **III 社会教育の推進**

- 1 生涯学習の充実
- 2 芸術・文化活動の推進
- 3 スポーツ活動の推進
- 4 図書館運営の充実

## **IV 子ども・子育て支援の推進**

- 1 子ども・子育て支援の充実
- 2 子育て相談体制の充実
- 3 放課後児童クラブの充実
- 4 青少年健全育成の充実

## **V おわりに**

## I はじめに

教育は、人を育てることを通して、未来を創造する営みです。一人ひとりの可能性を最大限に広げ、伸ばし、より豊かな人生を過ごせるように働きかけていくことが教育の役割です。

また、子どもたちが将来に向けて夢や希望を描き続け、自分らしさを発揮して自己実現を図るとともに、他者と協働しながら社会に貢献する資質や能力を身につけることが教育には求められています。

そのことを念頭に置いて、岩見沢市教育大綱に基づき、市民の信頼に応える温かい、心のこもった教育行政を推進してまいります。

学校教育につきましては、「子どもを徹底して大切にす岩見沢の教育づくり」に向けて、日常の授業を改善することによって、「授業づくりのまち岩見沢」の具現化を図り、子どもと保護者の期待や信頼に応えてまいります。

社会教育につきましては、「生涯にわたって主体的に学ぶ環境づくり」に向けて、生涯学習の場を大切にし、芸術、文化、スポーツの振興や推進および図書館運営の充実に努めてまいります。

子ども・子育て支援につきましては、「笑顔で子育てできるまちづくり」に向けて、「えみふる」の活用推進によって子ども同士が触れ合い、保護者がつながり合える機会を充実させるとともに、各部署や機関が連携して、相談や支援が気軽に受けられる体制づくりを推進してまいります。

これより、本年度の施策の概要について述べてまいります。

## II 学校教育の推進

はじめに、「学校教育の推進」についてです。学校教育においては「子どもを徹底して大切にす岩見沢の教育づくり」を推進してまいります。

### 1 新しい時代に対応できる力の育成

1点目は、「新しい時代に対応できる力の育成」についてです。

子どもが自ら未来を切り開いていくうえで必要な資質・能力を育成するために、「主体的・対話的で深い学び」を通して、確かな学力の定着を図ってまいります。

そのため、「教えて考えさせる」授業スタイルを市内の小中学校で展開し、「日常授業の改善」を図るとともに、学力向上の基盤となる「傾聴・受容・共感」による信頼関係に基づく学級集団づくりに努めてまいります。

また、学校が企画・立案する学力向上に向けた取組みなどを積極的に支援してまいります。

高度情報化社会を担う人材を育成するため、ICTによる情報活用能力を高める教育活動を推進するとともに、「英語が話せる岩見沢の子ども」の育成に向けて、外国語指導助手を有効に活用し、外国語教育の充実を図ってまいります。

さらに、大学の教員による出前授業や協力授業など、北海道教育大学岩見沢校との連携を図った教育活動を推進してまいります。

## 2 豊かな人間性と健やかな体を育成する教育の推進

2点目は、「豊かな人間性と健やかな体を育成する教育の推進」についてです。

子どもたちの自尊感情や自己有用感を育むピア・サポートの取組みを展開するとともに、誰もが達成感の持てる授業づくりを推進してまいります。

また、子どもたちの豊かな感性と想像力を育むため、体験活動や読書活動の充実を図ってまいります。

子どもに寄り添う積極的な生徒指導に努めるとともに、道徳教育を推進し、命を大切に作る心や他人を思いやる心、美しいものや自然に感動する心、礼節や規範意識を育てる教育を充実し、豊かな人間性を育ててまいります。

また、健やかな体の育成のために、すべての学年で新体力テストを実施し、体育の授業改善と、体力づくりの取組みを通して、体力向上や運動の習慣化を推進してまいります。

子どもに望ましい学習・生活・運動習慣、食習慣などを身に付けさせるために、「早寝・早起き・朝ごはん運動」や「家庭での5つの約束」を基本とした取組みを推進してまいります。

さらに、薬物乱用防止教育や防災教育の充実を図り、自らの判断で自分の命を守ることのできる力を養ってまいります。

### 3 育ちと学びを支える教育環境の充実

3点目は、「育ちと学びを支える教育環境の充実」についてです。

「岩見沢市いじめ防止基本方針」に基づく「岩見沢市いじめ問題対策連絡協議会」等の組織や、「教育支援センター」の機能の充実を図り、いじめや不登校の問題をはじめ、悩み・不安を持つ子どもや保護者、学校を支援してまいります。

また、子ども一人一人の発達を保障する特別支援教育、将来の生き方や望ましい職業観・勤労観を育むキャリア教育を一層推進するとともに、学習塾との連携による土曜学習会、囲碁の授業、長期休業中の「学び合い広場」など、多様な学ぶ場と機会を提供してまいります。

教育研究所では、学力・体力の向上、教師力・学校力の向上、地域や大学との連携など、教育効果を高めることに重点を置いて「調査・研究」「養成・研修」機能を強化してまいります。

教員の実践的指導力を高め「教えるプロ」としての専門的力量を育成するため、資質・能力の向上を図る各種研修を実施するとともに、働き方の見直しを推進してまいります。

また、児童生徒の減少が見込まれる将来において、適正な規模による学校教育が行われるよう、検討してまいります。

学校施設の耐震化は中央小学校の改築で完了しますが、老朽化対策など施設設備の改修を行ってまいります。

さらに、子どもたちの安全を守るために、児童見守りシステムの利用拡大を推進します。

### 4 信頼と期待に応える開かれた学校づくり

4点目は、「信頼と期待に応える開かれた学校づくり」についてです。

子どもたちに、未来を生き抜くために必要な資質・能力を育むため、学校・家庭・地域が連携・協働した教育活動の推進を支援してまいります。

また、教育活動や学校運営の改善・充実を図るため、今後も保護者や地

域住民の願いを反映させる学校関係者評価を推進してまいります。

さらに、子どもの学びの連続性を大切にした教育活動を展開するため、各校種間での連携・交流を推進してまいります。

## 5 緑陵高等学校の教育の充実

5点目は、「緑陵高等学校の教育の充実」についてです。

市立高校として、地域のよさを学び地域社会の発展に貢献できる人材の育成を目指し、家庭や地域と連携を図りながら、創意工夫に富んだ質の高い教育を提供し、生徒の社会参画意識を醸成してまいります。

また、普通科「普通コース」と「スポーツ総合コース」、情報コミュニケーション科それぞれの特色を活かして、選択幅の広い教育課程を編成・実施し、生徒の多様な進路に対応するとともに、未来を生きるために必要な資質・能力を育成する、活力と特色ある学校づくりを推進してまいります。

## 6 学校給食の充実

6点目は、「学校給食の充実」についてです。

新調理所においてH A C C Pに基づいた食品の衛生管理を徹底するとともに、新鮮で安全な地元産の食材を積極的に活用し、安全・安心で子どもたちが健やかに成長できる学校給食に取り組んでまいります。

また、新調理所の施設機能の活用を図り、子どもたちが食に関する正しい知識を習得し、望ましい食習慣を身につけることができるよう、食育の充実に取り組んでまいります。

食物アレルギーにつきましては、子どもの命と健康を守ることを最優先に、牛乳や主食での対応を家庭や学校と連携して実施してまいりました。新調理所におきましては、さらに副食についてもアレルギー対応食を調理し、喜ばれる給食の提供に努めてまいります。

また、市民が学校給食を身近なものとして感じ、理解を深めていただけるよう、定期的な試食会や施設見学などに引き続き取り組んでまいります。

### III 社会教育の推進

次に、「社会教育の推進」についてです。社会教育においては「生涯にわたって主体的に学ぶ環境づくり」を推進してまいります。

#### 1 生涯学習の充実

1点目は、「生涯学習の充実」についてです。

子どもから高齢者までの全世代が生涯にわたって生きがいのある豊かな生活を送るため、興味・関心に応じた自由な学習活動ができるよう、生涯学習センターを拠点に「いわなびチャレンジスクール」、「いわみざわ市民大学」、「高齢者対象講座」の開催など、多様な学習機会の充実に努めてまいります。

また、人材バンク登録者等による講座の開催など、学習成果を生かせる環境づくりを進め、市民の自主的な学習活動を支援するとともに、社会参加の促進を図ってまいります。

#### 2 芸術・文化活動の推進

2点目は、「芸術・文化活動の推進」についてです。

芸術文化は、豊かな創造性や感受性を育み、人々の生活に潤いと活力をもたらします。

芸術文化の鑑賞機会や活動機会の充実を図るため、岩見沢文化連盟や北海道教育大学などと連携し、「市民の文化祭」をはじめ、まなみーるや絵画ホールなどでの各種事業の実施に取り組むとともに、文化団体の活動や全国大会出場者に対する支援などに取り組んでまいります。

また、郷土の歴史文化に触れる企画展や講座の開催などにより、その理解と関心を深めるとともに、岩見沢郷土科学館につきましては、資料の展示方法等の見直しに取り組むなど、文化遺産の保存・継承と活用に努めてまいります。

#### 3 スポーツ活動の推進

3点目は、「スポーツ活動の推進」についてです。

生涯を通じてスポーツに親しみ、充実した活動ができるよう、岩見沢市

体育協会やスポーツ推進委員などと連携し、「楽しいキッズスポーツ教室」や「ウォーキングマラソン大会」の開催など、幅広い世代がスポーツをする機会の充実に努めてまいります。

また、各種スポーツ団体の活動や全国大会出場者、強化指定選手などに認定された子どもたちを支援するとともに、スポーツ施設の安全で快適な環境づくりに取り組んでまいります。

さらに、北海道教育大学との連携のもと、引き続き、東京パラリンピック競技の合宿誘致の取組みを進めるとともに、誰もが適性に応じて楽しめる「アダプテッド・スポーツ」の体験機会を通して、障がい者スポーツの普及・促進を図ってまいります。

#### 4 図書館運営の充実

4点目は、「図書館運営の充実」についてです。

図書館は、地域の知の拠点として図書、記録、資料などの収集・整備に努め、誰もが知識や情報を得ることができる環境を整えるとともに、司書の専門性を活かし、幅広い世代に対応した読書普及活動を推進してまいります。

また「いわみざわの子ども読書プラン」に基づき、「どくしょノート」の活用や学校図書館との連携など、引き続き子どもたちが本に触れる機会を広げてまいります。

### IV 子ども・子育て支援の推進

次に、「子ども・子育て支援の推進」についてです。子ども・子育て支援においては「笑顔で子育てできるまちづくり」を推進してまいります。

#### 1 子ども・子育て支援の充実

1点目は、「子ども・子育て支援の充実」についてです。

子どもたちが健やかに成長し、楽しく子育てができるまちを目指して、「岩見沢市子ども・子育てプラン」に基づいた、様々な取組みを推進してまいります。

こども・子育てひろば「えみふる」では、あそびの広場を含めた各部門



が連携して支援に努めるとともに、一時預かりや病児・病後児保育事業など多様な保育を実施し、引き続き、第2子、第3子保育料を無料とするなど、「このまちで、子どもを産み、育てたい」という思いに応える環境づくりに取り組んでまいります。

また、子どもを預けたい人と預かることのできる人が会員となって支え合う、ファミリー・サポート・センター事業を新たに開始いたします。

さらに、日常的に医療的なケアを必要とする子どもたちが、安心して教育を受けることができるよう、学校などに看護師を配置し、全ての子どもがともに成長できる環境づくりに取り組んでまいります。

## 2 子育て相談体制の充実

2点目は、「子育て相談体制の充実」についてです。

安心して子育てができる環境をつくるため、いわみざわ子育て支援センターに療育相談機能を加えて体制を拡充するとともに、誰もが、いつでも気軽に相談や支援が受けられるよう、「えみふる」の各部門及び児童相談所等関係機関が連携・協力して、子育て相談体制の充実を図ってまいります。

## 3 放課後児童クラブの充実

3点目は、「放課後児童クラブの充実」についてです。

子どもたちに遊びと生活の場を提供する児童館を運営するほか、留守家庭児童が利用する放課後児童クラブの対象学年を6年生まで拡大することに伴い、様々な体験活動もしながら過ごすことができる環境を整備し、子どもの成長を支え、子育てを支援してまいります。

## 4 青少年健全育成の充実

4点目は、「青少年健全育成の充実」についてです。

岩見沢市地域子ども会育成会連合会などの関係団体と連携し、さまざまな体験事業などに取り組むとともに、青少年センターを中心に、学校・家庭・地域の協力を得ながら、街頭補導や有害環境の改善に努めてまいります。

また、SNS等インターネットの利用について、子どもたちが自ら考え、正しく行動できるよう、学校や家庭と協力して、情報モラル教育やメディアリテラシーの向上に取り組んでまいります。

## V おわりに

教育は人を幸せにする営みです。

「岩見沢で子育てがしたい」「岩見沢で学びたい」「岩見沢に住みたい」と誰もが思え、コミュニティの形成にも貢献する教育施策の推進に努めてまいります。

議員の皆さま、市民の皆さまのご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。